



メロン、丸い形は地球に見える?メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします!

巻頭	～食でつながる、この人、この世界～タイのお正月は何を食べる?…… 1	カレンダー	2022年02月の comm cafe ランチカレンダー…… 5
紹介	市内の国際交流団体の紹介(2)「言葉の壁」に挑む…… 2	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ…… 6
コラム	アートの小箱 「心の水飲み場」…… 4	編集後記	…… 8

キューズモール
×
comm cafe

～食でつながる、この人、この世界～ タイのお正月は何を食べる?

みのおキューズモール2階のフードコート内に、誰でも自由に利用できる地域の集いの場(キューズリビング)が新設された。35㎡のこじんまりとした部屋にミニキッチンが付いている。協会も、キューズモールを運営する東急不動産から声をかけて頂いたので、comm cafeのシェフを講師に月1回テーマを決めて講座を開いている。目的は、地域で暮らす外国人市民を講師に迎え、食をテーマに文化やエピソードを共有すること。少人数ゆえ、参加者とゆるやかにつながり、相互理解を深められる場となっている。1月は、タイ出身のコブさんに「タイの正月」について語ってもらった。参加者は、お子さん連れで毎回参加している人、タイに住んだことのある中学生と多彩な顔ぶれだった。



▲ 講師のコブさん

タイは1月1日や旧暦の正月ではなく、お釈迦さまの誕生日(花祭り)の3日間を盛大にお祝いする。この日に観光目的で訪れるのは、店などもみな閉まっているから避けたほうが良い。お祭りを体験するならお薦めである。正月料理として特別なものはないが、やはり縁起の良い食べ物が好まれる。たとえば、もやし。参加者からは「えっ?」と驚きの声。もやしは日本ではどちらかと言えば、値段も安く料理としてもごちそうとは言えない。もやし料理を出して「また、もやしかあ!」と家族から言われた人も多いだろう。しかしタイでは成長が速く、早く立派な大人になれると非常に好まれるごちそうである。逆に日本でもよく知られている『トムヤンクン』はタイではそれほど食べられていないようだ。「混ぜるのは良くないの、人が混ぜたら喧嘩が起きるでしょ?だからお正月には食べません」。なるほど、「所変われば品変わる」と納得。私たちの知らない、タイの正月の話は本当に楽しかった。

担当のエネピシさんによると、じっくり話しているうちに、互いのステレオタイプが変わっていく瞬間が面白いとのこと。comm cafeではシェフは非常に忙しく、なかなか話を聞くこともできないが、それぞれの人柄に触れる事のできるステキな場所である。

次回は2月23日(水・休)。「はじめまして!私、フランクリンと一緒にキューバへのプチ旅行をしませんか?」と題して、講師はキューバ出身のフランクリンさん。次回も午前・午後とも先着5名までなので、P6のお知らせページを参照の上、HPから早めのお申し込みを。(井嶋)



▲ さつまいもの甘煮・ココナッツ&バナナ、甘いホットミルクティ(左から)

発行・差出人:公益財団法人箕面市国際交流協会(MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel: 072-727-6912 Fax: 072-727-6920 E-mail: info@mafga.or.jp HP: www.mafga.or.jp

賛助会員数: 279名 法人会員数: 27団体 (2022年1月14日現在)

市内の国際交流団体の紹介 (2) - 「言葉の壁」に挑む



箕面市には市民の国際交流団体がいろいろある。残念ながらこの2年はコロナのため多くの団体は活動の縮小・休止に追い込まれた。2022年はそれらが復活する年になって欲しい。

今回は市内の国際交流団体を数回に分けて紹介する。何か活動してみたいと思われる方は、是非参考にしていただき、行動していただければと思う。今回は第2回。「言葉の壁」に関わる活動を行っている二つの団体を紹介する。

外国人市民が日本で働き或は学び、社会生活を営む上で、また安心して医療を受け、安全に災害などに対応するためには言葉の壁の克服が最大の問題の一つ。日本語を学ぶ機会の提供、多言語の情報ややさしい日本語情報の提供、医療、防災での言葉の壁の解消のための諸施策は共生社会に必要なインフラと言ってよい。そのインフラの構築は共生を目指す日本社会の義務ともいえる。以下、二つの団体を紹介する。

T.E.S. にほんご (代表者：宮阪蓉子)	
活動内容	初級から中級までの日本語を学習者のレベルに応じて、1対1または少人数のグループで、楽しく学習できる教室を開いている。コロナ禍のため、現在は2部制にして活動中。学習者の事前申し込みは不要。いつでも参加できる。協会の二つの初級日本語教室「あかね」「ささゆり」の運営委託を受けて行っている。
団体PR	T.E.S. にほんごは 創立33年を過ぎた。昨年来コロナ禍のため活動の休止期間もあったが、現在21名のスタッフ(T.E.S. 会員)が登録者数43名の学習者と共に毎週楽しく活動を続けている。活動に興味がある方は、2～3月頃に出る募集案内をご覧ください。ご応募してほしい。
ホームページ	なし 連絡先：ty-miya@ares.eonet.ne.jp
主な活動場所	箕面市立多文化交流センター
活動頻度	毎週土曜日 午前9:00～10:20、10:30～11:50
会費等	学習者は無料。 T.E.S. 会員は年会費3,000円

みのお外国人医療サポートネット (代表者：中村智子)	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●外国人市民が医療機関を受診する際の同行・通訳 ●箕面市立病院における常駐通訳活動(英語・週2回 現在コロナ禍にて休止中) ●外国人市民、言語的、文化的背景が異なる人への情報提供・相談等 ●年1回のサポートセミナーの開催(その他 箕面市医療事務連絡会への参加)
団体PR	多文化共生社会において、外国人市民や言語的・文化的に異なる背景を持つ人が困難を感じることなく医療を享受できる地域・社会をめざして活動している。活動にご興味のある方は下記連絡先までご連絡を。まずは毎月開催している定例会へ参加してほしい。
ホームページ	http://mmedinet.seesaa.net/
主な活動場所	箕面市立病院ほか
活動頻度	定例会：毎月第3土曜日13:30～(8・11月除く)、同行通訳：随時
会費等	年会費はなし。



言葉の壁の解消をめざして

「T.E.S. にほんご」

「T.E.S. にほんご」とは「Try, Enjoy, Speak にほんご」のこと。楽しく、持続して日本語を学んでもらおう、というのが、「T.E.S. にほんご」(以下、T.E.S.)の基本的な考えである。

T.E.S.は1988年に発足した。市民による日本語学習支援の超老舗である。活動日は、留学生や就労者が参加し易い土曜日。学習するのは初級、中級会話。コロナ禍のなかでも学習者の人数は減っていないという。

一方、協会の日本語教室「あかね」〈初級読み書き〉、「ささゆり」〈初級会話〉の運営も協会の委託を受けて担っているが、週日午前中のクラスなので、就労者、学生は少なく、コロナ禍で人数は減り気味という。

コロナ禍で、オンラインの学習支援も何度か試みられた。ただ、機器を利用できる人に限定され、また対面に比べ、学習者の反応が分かりにくい、質問もしづらい、書いた字の正誤の確認が難しい、学習者同士の社交の場になり難いなどのデメリットを感じたと代表



▲ T.E.S.日本語の教室風景。
通常はマスク着用で行っている。

の宮阪容子さんは語る。最近やっと対面のクラスに戻りほっとしたそうである。

学習支援のレベルを保つために、年数回研修会も行われている。今後とも外国人市民のニーズに応えられるよう、日本語指導の技量を上げ、かつ「T.E.S.」と言う名前の通り、楽しい活動をめざしている。

「みのお外国人医療サポートネット」

1999年、箕面在住のインドネシア人の研究員が言葉の壁で十分な医療が受けられず亡くなった。この事件をきっかけに2002年に立ち上げられたのが「みのお外国人医療サポートネット」。同行通訳により、外国人患者と医師の間で、医療だけでなく文化の差異の理解も含めた意思疎通を支援するボランティア団体である。医学・薬学・保健、保険制度等の勉強など1年半の準備期間を経て立ち上げられた。

同行通訳依頼件数は2019年度252件、2020年度158件。やや減少傾向であるが、いろいろな意味でコロナの影響が考えられる。英語、韓国・朝鮮語、中国語他、計12言語に対応してきた。箕面だけでなく、近隣の病院にも出向いている。依頼の受け付け、希少言語の通訳人材探しなどで当協会も協力している。

同行するのは、通常は会員1人。希少言語で通訳を

依頼した場合は通訳と会員1名が同行する。2019年度の出入国在留管理庁の調査では、外国人患者の5割強が病状を伝えることの他に、病院の選択、受付・諸手続き等で言葉の困難を感じている。ボランティアの同行通訳は、先ず患者にとっては心強い。文化的差異にも配慮するので安心感を与える。そして、専門用語の面では完全ではないかもしれないが、一般的に翻訳ツール等の利用より、対面で繰り返し確認できるため、誤訳のリスクが少ないと言われている。

現在、課題の一つが会員の確保。会員は就労者も多いので時間調整に苦労し、依頼を断らざるを得ない場合もあるという。有意義な活動なので、興味ある方は、先ずは毎月の定例会に参加していただければと思う。

もう一つは、同行した会員には同行交通費を支給するが、財政面での課題。財源は箕面市医師会の支援が大きく、他に市立病院での常駐通訳活動の収入、協会を通じた市の支援がある。現在はコロナによる常駐活動休止で収入が減り、将来的には医師会からの支援の削減が予定されている。共生社会のインフラともいべき医療通訳の費用負担は誰が担うべきか。総務省は、費用負担を患者に求めることに言及しているが、いかがなものか。総務省の「多文化共生事例集」〈令和3年版〉にある医療通訳の事例、厚労省の資料にある海外事例(米、英、仏、豪州)を見ると、ほとんどが費用は公的負担、医療機関負担となっている。公的な医療通訳制度がない中、医療通訳を支えるボランティアの活動は重要であり、財政で悩むことなど無いよう何らかの支援策が求められる。

解決のためにはより広い対応を

言葉の壁で最も難しい問題の一つが医療の問題だ。医療での言葉の壁については、総務省、厚労省もそれぞれの施



▲定例会にて、田中千足先生(精神医学)の講演(21年3月)

策の中でいろいろ提言している。同行通訳が一番好ましいが、ボランティアの場合、様々な制約もあり全てには対応できない。やはり医療機関の対応とボランティア対応の両輪で対応する体制が望まれる。厚労省などの資料〈「外国人患者の受入環境整備に関する研究」(令和3年)ほか〉などで示されている諸対策、即ち受付、問診票などの書類や院内表示の多言語化、及び医療用電話通訳(厚労省委託事業)、音声入出力付翻訳アプリ(VoiceTraなど)などの利用など、すでに進められている所もあるが、さらなる進展を期待したい。(荻野)

コラム

アート的小箱

Vol. 10

多文化共生社会ってなんなんだ、と問い続け、アートの世界にその糸口を得た野崎ターラー(協会職員・アート活動家)による、不定期コラム。読者のみなさんにも、アートの世界に触れ、共生のヒントを感じてほしい。
*イベント「アートの小箱を開けてみる」は3/21(月・祝)を予定!



心の水飲み場



30代半ばに心身の調子を著しく崩して、町をさまよっていた時期がある。いわゆるキラキラした繁華街はしんどいし、何かを食べたいとも思わない。人に会いたいが、しゃべりたくはないので友達には会えない。家にいると鬱っぽくなるので外に出るが、行く場所がない。さながら砂漠にいるような気持ちだった。そんなときに、あるアートのギャラリーに出会った。好きな絵を前にしていたら豊かな気分になれた。絵の周りにぼちぼち人が集うのもとても心地よかった。心が少しだけ潤った。あの時の私にとってあのギャラリーは心の水飲み場だったと思う。

そんなギャラリーが、箕面市の桜井市場の中にもある。「Zone (ゾーン)」は、ゼロワンと読むこともでき、ものが生まれる瞬間をあらわしている。細長い市場のちょうど真ん中あたりにあり、オーナーの中谷雅代さんは、買い物のついでにふらっと来てほしいとはなす。アート、特に現代アートは、難しい、わからないといって敬遠する人が多いと思うが、作家と会話を交わせるという点で、

いわゆる過去の巨匠の作品とはちがった味わい方ができる。ぜひ色眼鏡をかけず、気楽に触れてほしい。中谷さんは、作家に対しても、訪問者に声をかけるように促している。肩ひじを張って美術談義をするのではなく、ゆるく作品を囲みながら、作品そのものだけではなく、社会や人間の心について話をする場としてギャラリーを使ってほしいからだ。

2019年には、Zoneの隣にTriAngle(トライアングル)Galleryを開設。トライアングルには、アーティスト、訪問者、地域を結びたいという思いが込められている。こちらは貸しギャラリーとして様々なアーティストが利用している。また、中谷さんは隔年で開催されている「箕面の森アートウォーク」のスプロデュースも務めている。その関係から、ここにはアート好きが集い、さまざまな情報交換の場にもなっている。

町で買い物やグルメに疲れて、行き場がないと感じたら、ぜひ近くのギャラリーに足を向けてみてほしい。Zoneのようなギャラリーはきっとあなたの心を潤してくれると思う。



▲ 絵の鑑賞者に作品の説明をする
オーナーの中谷雅代さん



▲ 漆塗りのワークショップの様子。
時々、作家さんがワークショップを開催するのギャラリーの特徴。



コンテンポラリーアートギャラリー
Zone/TriAngle Gallery

〒563-0043 大阪府箕面市桜井 2-10-5
TEL: 080-3106-3177

来店の前にはFBなどで確認を。



胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科

おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30分前から受付します。

■胃カメラは予約制です。

■休診日: 土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日

■http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/

【住所】〒562-0023

箕面市粟生間谷西 3-7-9 シャトー野間 1F

阪急バス停留所「空の前」スーパーマルヤス向い

☑ 無料駐車場 有

TEL: 072-730-0721



エスパー

能勢

espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間: 金~月 11:00 ~ 17:00

http://espero-osaka.com/

箕面市国際交流協会の
多言語による生活相談窓口電話 072-727-6912
(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時: 火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法: 来館、メール、電話

対応言語: 日本語、韓国・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所: 箕面市立多文化交流センター

2月
February



comm cafe ランチカレンダー

コムカフェ

火～土

9:30 - 11:30 **朝カフェ**
 11:30 - 14:00 **ランチタイム** *売り切れ次第終了します
 - フルメニュー ￥880
 - 限定メニュー ￥770
 14:00 - 17:00 **午後カフェ**

日・祝日 *ランチはありません

10:00 - 13:00 **世界の朝ごはん** ￥660 (ドリンク付)

★箕面ふるさとカレンダー2022のテーマは「料理で世界旅行」
 comm cafeのシェフによる「箕面産野菜を使った世界の一皿！」
 毎月のシェフの日には、カレンダーのメニューが食べられます。

おしらせ

■コロナウイルス感染拡大防止対策のため、2月中は
テイクアウトのみの営業となります。
 お弁当のご予約お待ちしております！
 → ご予約 (comm cafe直通) **072-734-6255**

■ドリンクのみはイートインいただけます。

★★
 コムカフェのクーポン(緑)のご利用期限が迫っています！期限は2022年3月31日までです。
 早めにご利用ください。

☒... スナック & スウィーツの日 ☑... カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
	1 コフさん 《タイ》	2 ☒ MAFGA スナック	3 李さん 《コリア》	4 ルーパさん 《インド》	5 トゥエットさん 《ベトナム》	6 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00～13:00
7 休館日	8 いすみさん 《ベトナム》	9 ノックさん 《タイ》	10 フランクリンさん 《キューバ》	11 [休]	12 協会主催事業のため カフェはお休みです。	13 世界の朝ごはん 《ペラルーシ》 10:00～13:00
14 休館日	15 ノックさん 《タイ》	16 ☒ MAFGA スナック	17 ホーさん 《香港》	18 山口さん 《中国》	19 協会主催事業のため ランチはお休みです。	20 世界の朝ごはん 《中国》 10:00～13:00
21 休館日	22 協会主催事業のため ランチはお休みです。	23 [休]	24 アイリンさん 《イラン》	25 洪さん 《コリア》	26 フランクリンさん 《キューバ》	27 世界の朝ごはん 《モンゴル》 10:00～13:00
28 休館日	世界40の国と地域から80名のスタッフが関わるcomm cafeが 飲食以外のコミュニティ・ビジネスの可能性を模索するため、ク ラウドファンディングに挑戦します。 2月上旬同時公開予定です。是非、ご注目を！					



購入型

CAMPFIRE



税額控除対象
寄付型

conarant

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebookを確認ください。

- ベジタリアン、ハラール、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebookをご覧ください。https://www.facebook.com/mafgachallengecafe



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで ※開催場所: 箕面市立多文化交流センター

☎: **072-727-6912** FAX: **072-727-6920** ✉: **info@mafga.or.jp**

イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。最新情報は協会 HP を確認ください。www.mafga.or.jp

イベント情報

定例イベント

読書会

2/13 (日)
10:30~12:00

多文化共生社会理解のための読書会

京都府宇治市にあるウトロ地区の歴史を知る。事前配布資料あり。
資料を読んで集まり、感じたこと、考えたことを話しましょう。
◎ 藤井幸之助 (猪飼野セツパラム文庫)

対象 : どなたでも
定員 : 10名 (要申込)
場所 : ボランティア室
参加費 : 無料

多文化体験

2/23(水・休)
① 10:30~
② 13:30~

キューズモール× comm cafe 食でつながる、このひと、この世界

「はじめまして!
私、フランクリンと一緒にキューバへのプチ旅行をしませんか?」
◎ ヘルナンデス・ヘルナンデス・フランクリン・ミッチェル (キューバ出身)
コーディネーター: 崔聖子

対象 : どなたでも
場所 : みのおキューズモール
Center2F キューズリビング
定員 : 各5名 (要申込)
参加費 : 無料

イベント

① 2/8 (火)
② 2/10 (木)
10:00-11:00

フェアトレードにふれる バレンタインにフェアトレードな選択を

「おいしいチョコが笑顔をつなぐ。フェアトレードチョコの紹介
◎ 片藤幸子 (おふくおふくおふく) (の会 楓)
おハレステマ・ナシ・シナモンの贈り物
◎ 高橋智恵 (架け箸)

対象 : どなたでも
定員 : 各10名 (要申込)
場所 : コムカフェ
参加費 : 無料

イベント

2/9 (水)
10:00-12:00

Café com Livros ブラジルブックカフェ

ブラジルからの留学生が、ブラジルの【今】を語る!
ブラジルに関する本、ポルトガル語の絵本を始めとした様々な書籍などが並びます。
◎ フェルナンダ・パウザッキ・ジ・モウラ (大阪大学留学生)

対象 : どなたでも
定員 : 10名
場所 : 大阪大学箕面キャンパス
3F 食堂前
参加費 : 無料

上映会

2/18 (金)
13:30~16:30

映画【海辺の彼女たち】上映会&監督トーク

日本で生活するベトナム実習生たちの実話をもとにしたリアリズムに
ふれる物語。作品上映後は、藤元明緒監督とのトークあり。
監督 藤元明緒 / 2020年製作 / 88分 / G / 日本・ベトナム合作 / 配給: E.x.N

対象 : どなたでも
定員 : 25名 (要申込)
場所 : 講座室
参加費 : 一般...1000円
賛助会員・大学生...無料

セミナー

2/25 (金)
13:30~16:30

企業と働きたい外国人市民のためのマッチング交流会

日本で働きたい外国人市民と企業が相互理解を深められるイベント形式
の合同説明会。近い距離でコミュニケーションが取れることから、雇
用のミスマッチの回避が期待できます。求人企業と求職者同時募集中!

定員 : 外国人市民 20名
求人企業 5社
参加費 : 無料

イベント

3/6 (日)
10:00~11:30

世界の発酵食品を知ろう

中国の豆板醤、トルコのピクルスなど、世界の発酵食品が
どのように作られるのかを紹介します。試食あり。
◎ 鳥羽山良平 (協会職員)、金梨花 (協会職員) 他

対象 : どなたでも
定員 : 10名 (要申込)
場所 : コムカフェ
参加費 : 賛助会員...1,000円
一般...1,500円

唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で40年の歴史~

*バレエコース : 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Dipolma)や、
日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもあ
る指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けら
れるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3才~80才
位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース : 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が
健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より30M)
072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。
 コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。

講演会

2/11(金・祝)
14:00-16:00

私が歩いて来た道 ～アフガンの風を絵本のぬくもりにかえて～

アフガニスタンにて中村哲医師(ベシヤワール会)のもとで水源確保事業を行うなど、紛争地や被災地での国際支援活動をされてきた蓮岡さんが、中村哲さんから学んだことや思い、そしてアフガニスタンの未来について語る。
 ◎蓮岡修(こどもの本専門店「きんだあらんど」店主)

場所：豊中市立生活情報センター
(豊中市北椋塚2-2-1)
くらしかん イベントホール
参加費：500円
主催・申込：NOP 法人
国際交流の会とよなか(TIFA)
tifa99@nifty.ne.jp
06-6840-1014

写真展

2/19-27
10:00-18:00

「平壤の人びと」大阪展

長年にわたり朝鮮民主主義人民共和国各地を取材して撮影した写真100点(パネル48枚)を展示する。
 会期中、写真を撮影した伊藤孝司さんが在廊。
 ギャラリートーク 平日15:00～ 土日休14:00～

場所：元辻本写真展
(生野区新今里2-9-16)
参加費：無料(カンパ歓迎)
主催・申込：NPO法人 猪飼野セッパラム文庫
https://sepparam-bunko.jimdofree.com/

お弁当配布

2/19(土)
12:00-14:00

Ngon Ngon Viet Nam × MAFGA ベトナムのお弁当を配布します。

地域に住むベトナム人の方を始めとする外国人市民の方を対象に、ベトナム料理のお弁当を配布します。
 是非、お近くの外国人市民の方々にお声がけください。
 ◎シチ・ゴック・トウエット、荒木浩太(Ngon Ngon Viet Nam)

場所：東生涯学習センター
(箕面市粟生間谷西3-1-3)
弁当代：外国人市民 無料(30食限定)
日本人の方 300円(15食限定)
主催・申込：Ngon Ngon Viet Nam
ngon.ngon.vietnam123@gmail.com
協力：箕面市国際交流協会

Phát cơm hộp

Thứ bảy
19/2
12:00 ~ 14:00

PHÁT CƠM HỘP VIỆT NAM

Ngon Ngon Việt Nam và MAFGA (Hiệp hội giao lưu Quốc tế thành phố Minoh) sẽ tổ chức phát cơm hộp Việt Nam cho công dân người nước ngoài (miễn phí) và người Nhật (300¥/ suất). Hãy rủ các bạn người nước ngoài cùng đến nhận cơm hộp nhé!

Địa điểm: Trung tâm khuyến học trọn đời Higashi Minoh (Minoh-shiritsu Higashi shogai gakushu senta)
 Số lượng: 30 phần cơm miễn phí cho công dân nước ngoài và 15 phần cơm 300¥ cho công dân người Nhật.
 Đơn vị tổ chức: Ngon Ngon Viet Nam MAFGA
 ngon.ngon.viet.nam123@gmail.com

セミナー

2/20(日)
13:30-16:30

みんなで考えよう、ハラスメントの解決策

20年来教育機関におけるハラスメントの相談および解決支援を行ってきたNAAHとともによりよい教育研究環境づくりを考える。
 ○NAAHメンバー・相談員による「事例から解決法を考える」プレゼンテーション
 ○NAAH新作ビデオの視聴と解説事案についての意見交換
 ○参加者から解決策の提案

場所：大阪私学会館3階会議室
(大阪市都島区網島町6-20)
参加費：無料(要申込)
定員：10名(先着順)
主催・申込：特定非営利活動法人アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク(NAAH)
office@naah.jp
06-6353-3364

セミナー

2/23(水・休)
14:00-16:00

外国にルーツを持つ子どもの居場所づくり ～地域や学校にできること～

周縁化されがちな外国人がコロナ禍でさらにしんどい状況に追いやられつつあります。多様な人びとが安心して住み続けることができるまちづくり、外国にルーツをもつ子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりのために、私たちにできること、地域でできることについて、一緒に考えませんか。
 ◎山野上隆史((公財)とよなか国際交流協会事務局長)

場所：庄内公民館(豊中市三和町3-2-1)
参加費：無料
定員：40名(要申込・先着順)
主催・申込：(一財)とよなか人権まちづくり協会
bwz37306@nifty.com
06-6841-5300

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?



ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう!
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、デザイン等を修得
 昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー
 昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ：〒562-0012 箕面市白鳥2-2-30 電話/FAX 072(721)4151
 E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

めろん編集ボランティアスタッフ 募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 編集会議の日程などについては、協会までお問合せください。

めろんの広報にご協力ください!

「めろん」をより多くの方に知ってもらうために、自治会やPTA、同窓会、研修、セミナーや授業など様々な催しで、地域から多文化共生を考えるためのツールとして配ってくださいますか。置いてくださるお店なども大歓迎! お問合せお待ちしております。

編 集 後 記

京都府宇治市にウトロ地区。それは、第二次世界大戦中、飛行場建設に携わった朝鮮半島からの労働者の「飯場」が元になった集住地区だ。そのウトロ地区に建設中の「ウトロ平和祈念館」がある。2021年8月祈念館の史料が保管されている倉庫で、火災があったという小さな記事を目にした。後に、その火災は放火が原因で22歳の若者が逮捕され、動機に差別意識があったことを知った。ヘイトクライム(憎悪犯罪)だ。

歴史的に貴重な資料を火災で失ったことが悔やまれる。しかし、それ以上に日々の平穏な生活が脅かされたことへの危機感が大きい。放火された倉庫は住宅地の中にあり、そこに住む人たちを始め、当事者の人たちの気持ちを想像するだけで胸がつぶれそうになる。日本社会の特にネット上に溢れるヘイトスピーチに対して「沈黙」してきた結果、このような事件が起きてしまったのだと、日本人というマジョリティとしての立場を問われていると感じている。

自分のことに置き換えても、今まで社会問題を学ぶチャンネルとして意識的にアメリカを中心とした英語圏の書籍やニュースを主に読んできたことは、日本社会での自分自身の特権性や加害性を受け止めきれないと直視してこなかった結果でもある。容疑者の青年だけを責めるのではなく、日本社会の中の差別やヘイトにどう向き合っていくのか。

今年は、「知ってるつもり」の近現代史を、多角的に学び直す一年にしたい。まずは、「ウトロ地区」の背景から。共に学びたいと思ってくれる方を歓迎します。サイレント・マジョリティではなく、当たり前を問い、そして常に自分を問うてゆく「クエスチョニング・マジョリティ」*でありたいと思う。今年も、みなさんと共に、考えていきたい。(末原)

*クエスチョニング・マジョリティ...詳しくは、『対抗言論 Vol.2』巻頭「文学はいま何に「対抗」すべきか?」温又柔、木村友祐、杉田俊介、櫻井信英

アクセスマップ



オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
 - (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西5丁目」から西へ約200m
- ※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出 発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 55, 56 58, 59, 66	① 小野原 ② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR茨木方面から	92	① 小野原 ② 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷺尾則昭

【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ：(公財) 箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター
Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル : http://portal.mafga.or.jp/